

研究課題番号	1-2305
研究課題名	ICT を用いた地域の CO2 の見える化システムと、それを用いた脱炭素事業 拠点事業・脱炭素政策の評価プロセスの開発
研究実施期間	令和 5 年度～令和 7 年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	藤田 壮

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

スマートモニタリングの実装や地域電力事業の需給解析、データの解析、脱炭素先行地域の自治体
類型化など一定の成果が評価される、また、見える化、現状把握に関しては計画に沿った進捗がある。
今後、サブテーマ間の連携や全体の目標の再確認などを通して、最終目標に対してわかりやすい説明
や研究成果が出てくることを期待する。CO₂の見える化を補強する技術や時間方向のモニタリング情
報の有効活用も検討いただきたい。また、政策実装上での課題の整理や住民の視点からの行動経済学
等の視点を考慮いただき、自治体に向けてより使いやすい情報提供に努めていただきたい。同時に論
文発表等による学術的成果の発信も期待する。